



TITLE:

東方學報 京都, ZINBUN總目録

AUTHOR(S):

CITATION:

東方學報 京都, ZINBUN總目録. 東方學報 1980, 52: 777-794

ISSUE DATE:

1980-03-15

URL:

<https://doi.org/10.14989/66569>

RIGHT:

東方學報
京都
ZINBUN

總
目
錄

東方學報京都 總目錄

第一冊 (一九三二年三月)

甘石星經考

北支那發見の一種の銅容器と其の性質

支那古代の長子相續制度

引路菩薩信仰に就いて

水經注に引用せる法顯傳

工藝史上より見たる漢樣式と銅鏡

大元通制解說

——新刊本通制條格の紹介に代へて

董盒藏書畫譜

第二冊 (一九三二年二月)

顧愷之の山水畫論

戴宏解疑論考

支那古代の銅利器に就いて

說文解字段注攷正訂補

玉璧考

南嶽承遠傳とその淨土教

元史刑法志と「元律」との關係に就いて

爽籟館欣賞第一輯

第三冊 (一九三三年三月)

五行の排列と五帝德に就て

古紐研究

喪服源流考

戴震の水經注校定について

敦煌出土の唐騎都尉秦元告身

金文に見えたる錫臣の記事に就て

東洋古銅器の化學的研究

支那古銅器の化學的研究に就て

前漢代における墓飾石彫の一群に就て

胸中の丘壑

第四冊 (一九三三年二月)

左傳鄭服異義說

文人畫の發生

宋紹熙板禮記正義に就いて

漢代を中心とせる動物表現に就いて

伊勢專一郎

狩野直喜

高畑彦次郎

松浦嘉三郎

森鹿三

内藤乾吉

小川茂樹

小松茂樹

山内淑人

梅原末治

水野清一

伊勢專一郎

重澤俊郎

伊勢專一郎

常盤井賢十

長廣敏雄

漢代論天攷

李愷法經考

支那古銅容器の一考察

十道志に引用せる水經について

唐中期以來の長安の功德使

ベルンハルト・カルグレンの官話に於ける

不規則的有氣音から見たるトルコ語の轉寫音

清季東亞外交史に關する近刊の漢文史料につ

いて

南滿洲遼陽出土の漢代瑠玉

第五册 (一九三四年七月)

追記前清考試制度

則天武后の白司馬坂大像に就いて

五行の排列と五帝德に就いて 續篇

支那言語學序說

左氏凡例辨

秦の改時改月說と五星聚井の辨

左氏春秋平義

漢代漆器紀年銘文集錄

支那古銅器の藝術學的分析

第六册 (一九三六年二月)

分野說と古代支那人の信仰

佛教史料としての金刻藏經

特に宋釋教目錄と唐宋法相宗章疏に就て

漢代容器器形に就いて

鹿角銜枝「鏤」について

最近(一九二七年以後)の古韻研究

詩經の日蝕に就て

關門中中門

臧在東先生年譜

「五行の排列と五帝德に就て」補遺四則

漢代漆器紀年銘文集錄補遺

「中華民國及滿洲國疆域圖」製作過程に就て

本草に就て

附錄地圖

「中華民國及滿洲國疆域圖」製作過程に就いての附圖

第七册 (一九三六年十二月)

河南安陽發見の遺物

主として新發見の古墓出土品に就いて

宋代の星宿

西周時代に於ける罰金徵收制度

唐六典の行用に就いて

能田忠亮

小川茂樹

水野清一

森鹿三

塚本善隆

高畑彦次郎

三國谷宏

水野清一

董康

松本文三郎

狩野直喜

高畑彦次郎

吉川幸次郎

能田忠亮

重澤俊郎

梅原末治

長廣敏雄

小島祐馬

塚本善隆

長廣敏雄

水野清一

高畑彦次郎

能田忠亮

渡邊幸三

吉川幸次郎

狩野直喜

梅原末治

太田喜久雄

中尾萬三

三葉

梅原末治

藪内清

小川茂樹

内藤乾吉

東亞外交史々料としての舊奎章閣所藏文書

特に馬山浦事件について

最近（一九二七年以後）の古韻研究 續編

最近に於ける水經注研究

殊に鄭德坤の業績について

日本に遺存せる遼文學と其の影響

眞福寺藏戒球集往生淨土傳と金澤文庫藏漢家

類聚往生傳に就いて

讀尙書注疏記（一）

鹿角製銜枝「鑣」に就いて補遺

北支史蹟調査旅行日記

第八冊（一九三七年一〇月）

北曲の遺響

古鏡の化學的研究

古鏡の化學成分に關する考古學的考察

唐開元占經中の星經

唇音を語尾子音とする古韻研究

北魏唐草文様の二三について

堯典に見えた天文

日本に遺存せる遼文學とその影響補遺

新出檀伯達器考

長沙出土の木偶について

三國谷 宏

高畑彦次郎

森 鹿 三

塚本善隆

經濟文學研究室

水野清一

青木正兒

小松茂人

山内淑人

梅原末治

藪内清

高畑彦次郎

長廣敏雄

能田忠亮

塚本善隆

小川茂樹

總 目 次

讀尙書注疏記（二）

新獲文選集注斷簡

山東旅行記

第九冊（一九三八年一〇月）

漢書補注補

支那の詔敕文と其の起草者

舊鈔本禮記正義を校勘して

殷代金文に見えた圖象文字に就いて

支那劇音樂の採譜について

史記引く所の尙書說

宋代の皇城司に就いて

成唯識論に於ける造論意趣に就いて

說 郢 攷

讀尙書注疏記（三）

雲岡石窟調査記

遊支日記

書 評

陳嘯江 魏晉時代之「族」

楊聯陞 東漢的豪族

能田忠亮 禮記月令天文攷

小野勝年譯註 歷代名畫記

本所善本提要

經濟文學研究室

新 美 寛

狩野直喜

鈴木虎雄

吉川幸次郎

小川茂樹

長廣敏雄

佐藤匡玄

佐 伯 富

長尾雅人

渡邊幸三

經濟文學研究室

水野清一

藪内清

宇都宮清吉

吉川幸次郎

吉川幸次郎

附錄

Ergänzungsband zu den Neugebauers Sternatafel.

アルバース氏等積圓錐圖法について

小川 琢治

第十冊 (四分冊 一九三九年五、七、一〇月、一九四〇年一月)

兜跋毗沙門攷

松本文三郎

漢書補注補

狩野直喜

北魏建國時代の佛教政策と河北の佛教

塚本善隆

桃源瑞仙の史記抄を読む

大島利一

禮經と漢制

狩野直喜

世說新語の時代

宇都宮清吉

世說新語の文章

吉川幸次郎

十二律管について

藪内 清

尙書正義解題

吉川幸次郎

琉球歸屬に關するグラントの調停

三國谷 宏

金縢説話と尙書の今文古文

平岡武夫

朱子の「氣」に就いて

安田二郎

本草の研究に就いて

木村康一

舞樂蘭陵王考

傳 芸子

讀尙書注疏記(四)(五)(六)(七)

經學文學研究室

アレクセーエフ教授の業績

藤 枝 晃

說文展觀餘錄

倉田淳之助

紅豆齋鈔本尙書大傳五卷

高倉正三

書評 長澤規矩也 支那文學史研究法私説

吉川幸次郎

大同善化寺石刻錄

水野清一

本所善本提要

第十一冊 (四分冊 一九四〇年四、七、一〇月、一九四一年一月)

夾紵の像器に就いて

松本文三郎

殷末周初の東方經略に就いて(上)(下)

小川茂樹

秦漢に於ける民間祭祀の統一

森 三樹三郎

漢書補注補

狩野直喜

古代利器の化學的研究

山内淑人

尙書孔氏傳解題

小泉英一

支那銅利器の成分に關する考古學的考察

吉川幸次郎

兩漢曆法考

梅原末治

新修本草と小島寶素

藪内 清

敦煌發見唐宋時代の離婚書

森 鹿三

古代支那藝術の抽象性

仁井田 陞

三性説とその譬喩

長廣敏雄

讀尙書注疏記(八)(九)(十)

長尾雅人

讀元曲選記(一)(二)

經學文學研究室

開皇二年四面十二龍像に就いて

經學文學研究室

開皇二年四面十二龍像に就いて

水野清一

武州川の火井をたづねて

喇嘛廟とその文獻

臧氏元曲選異文表

植物の漢名について

漢代漆器紀年銘文集録補遺第二

朱子解釋について津田博士の高教を仰ぐ

栗棘庵所藏輿地圖解説

日比野丈夫

長尾雅人

經學文學研究室

木村康一

梅原末治

安田二郎

森鹿三

支那在家佛教特に庶民佛教の一經典

提謂波利經の歴史

沙州歸義軍節度使始末(一)(二)

話本の性格について

釋浪調

「俗」の歴史

支那に於ける維摩經研究史序説

河北省順義縣に滿鐵調査班を訪ふの記

塚本善隆

藤枝晃

入矢義高

傳芸子

吉川幸次郎

春日禮智

大島利一

第十二册 (四分册一九四二年六、九、十二月、一九四三年三月)

牟子理惑の述作年代考

漢書補注補

王者の記録としての龜甲文と銅器銘

后羿傳説考

殷周より隋に至る支那曆法史

讀元曲選記(三)(四)(五)(六)

漢書補注補

支那に於ける刑罰の起源に就いて

夏小正星象論

元曲に於ける險韻について

「盛世新聲」と「重刊増益詞林摘豔」

キジール紅穹窿洞

——その復原圖の作成

第十三册 (四分册 一九四二年六月、一九四三年一、六、九月)

鷗尾考

二十八宿と吠陀成立年代

沙州歸義軍節度使始末(三)(四)

雲岡石窟調査記

蘇州話譯稿(一)(二)

竹冊と支那古代の記録

唐代曆法に於ける歩日躔月離術

毛詩正義校定資料解説

攝大乘論世親釋の漢藏本對照

元雜劇の作者

玉燭寶典について

清末より現在に至る支那の測量地圖

松本文三郎

善波周

藤枝晃

雲岡石窟調査班

高倉正三

平岡武夫

戴内清

經學文學研究室

長尾雅人

吉川幸次郎

新美寬

日比野丈夫

唐宋曆法史

元雜劇の作者

登科記考補

元雜劇の題材

雲岡石窟調査記

戴内清

吉川幸次郎

羅繼祖

田中謙二

雲岡石窟調査班

喇嘛教教理の概要

蒙古喇嘛廟調査記

雲岡石窟調査記(昭和十八年度)

長尾雅人

長尾雅人

雲岡石窟調査班

第十四冊(四分冊 一九四三年二月、一九四四年二、六、一〇月)

四十二章經成立年代考

陽明學の性格

元曲助字雜考

兩漢郡國令長考

東方文化研究所漢籍分類目錄解説

東京及安南北部發見の古鏡

元雜劇の構成(上)(中)(下)

宋代走馬承受の研究(上)(下)

元明曆法史

支那成實學派の隆替について

王勃年譜

尙書を續ける人々(中世篇)

李昭道の海圖について

神獸鏡の「口銜巨」の圖様に就いて

史記天官書恒星考

松本文三郎

安田二郎

入矢義高

羅繼祖

倉田淳之助

梅原末治

吉川幸次郎

佐伯富

戴内清

春日禮智

鈴木虎雄

平岡武夫

長廣敏雄

梅原末治

清水嘉一

第十五冊(四分冊 一九四五年一月、一九四七年六月)

老子化胡經の研究

支那中世の交通

元雜劇の文章

毛詩正義の論證に就いての一考察

穀類抄に就いて

西洋天文学の東漸

清代の曆法

明末における經書の續成

——尙書六體遺範について

白氏文集傳本に就いて

舊支那に於ける兒童の學塾生活

蒙古喇嘛廟調査記(下)

——厚和の諸廟と五當召

林西先史遺蹟踏査記

雲岡石窟調査記

——昭和十九年度

元雜劇の用語

豐坊と古書世學(上)(下)

松本文三郎

青山定雄

吉川幸次郎

小尾郊一

松村慈孝

戴内清

平岡武夫

小尾郊一

田中謙二

長尾雅人

水野清一

雲岡石窟調査班

吉川幸次郎

平岡武夫

汜勝之書について

讀白樂天詩記(一)

太初改曆とその曆法

雲岡石窟に於ける佛像の服制について

龜卜と筮

大島 利一

神田 喜一郎

天文曆算研究室

長 廣 敏雄

貝塚 茂樹

狩野君山先生略譜

第十八冊 (一九五〇年二月)

中國鄉村の治水灌溉に現はれたる通力合作の形式

形式

天台智顗の實相論

「董西廂」に見える俗語の助字

北周の廢佛に就いて(下)

魏・西晉の中正制度

いはゆる華嚴教主盧遮那佛の立像について

浙江海鹽縣の里甲

清水 盛光

藤 吉 慈海

田 中 謙二

塚 本 善隆

宮 川 尙志

水 野 清一

小 畑 龍雄

阿爾泰軍臺について

名物六帖の引用書籍に就いて

日 比 野 丈夫

花 房 英樹

第十九冊 (一九五〇年二月)

陳の革命と佛牙

陳専の『農書』と水稻作技術の展開(上)

中國に於けるイスラム天文學

中國栽培植物の起源

宋代銅錢問題に關する新見解

わが國における發掘錢より出發して

塚 本 善隆

天 野 元之助

藪 内 清

北 村 四郎

日 比 野 丈夫

花 房 英樹

第十七冊 (一九四九年二月)

中國哲學史序說稿本

羅教の成立と流傳について

學僧宗喀巴

——その傳と著作目錄

新唐書地理志の土貢について

白樂天の補逸書

狩野先生の學風

日 比 野 丈夫

平 岡 武夫

小 島 祐馬

文苑英華の編纂

西夏の死都カラ・ホトの調査の概要について

中江丑吉氏遺著『中國古代政治思想』について

花 房 英樹

松 田 一政

木 村 英一

天龍山北齊佛頭

——圖版解説

水野清一

七八四

第二十冊（一九五一年三月）

八旗滿洲ニルの研究

とくに天命初期のニルにおける上部人的構造——甲士の篇

安部健夫

東京夢華錄の文章

入矢義高

清末變法論の成立

小野川秀美

勞榘氏の「北魏洛陽城圖復原」を評す

森鹿三

陶弘景の本草に對する文獻學的考察

渡邊幸三

朝鮮水産業の開發過程

吉田敬市

附圖 滿洲における特殊屯堡の分布圖

第二十一冊（一九五二年三月）

清末の思想と進化論

小野川秀美

陳勇の農書と水稻作技術の展開（下）

天野元之助

彈詞攷

倉田淳之助

佛教に於ける批判的精神の問題

藤吉慈海

唐慎微の經史證類備急本草の系統とその版本

渡邊幸三

公輸子に關する二三の說話

森鹿三

殷代の曆法

藪内清

——董作賓氏の論文について

唐代龍門佛頭二種

水野清一

第二十二冊（一九五三年二月）

慣行と慣習

——二概念の相關性

清水盛光

ジツテと朱子の學

木村英一

華北農村における同族の祭祖行事について

内田智雄

南京不動産の賣契の研究

渡邊幸三

海南島土地賣買慣行と同族先買權の問題

天野元之助

鄉村防衛と堅壁清野

日比野丈夫

水利における二三の問題

米田賢次郎

正月十五日の行事

森鹿三

第二十三冊（一九五三年三月） 殷代青銅文化の研究

甲骨文斷代研究法の再檢討

貝塚茂樹

——董氏の文武丁時代卜辭を中心として——

殷商青銅器編年の諸問題

水野清一

鉞と矛について

岡崎敬

——殷商青銅利器に關する一研究——

殷代技術小記

吉田光邦

殷周銅器に現れる龍について

林已奈夫

——附論・殷周銅器における動物表現形式の二三について

鳳雞の諸器について

岡田芳三郎

——中國古銅器聚成の一つの試み——

殷代産業に關する若干の問題

天野元之助

殷墟關係文獻目錄

中國出土の一群の銅利器に就いて
西周の農業

殷墟發掘年表

孟子の春秋時代觀

河南安陽遺蹟地圖

孔子學團

河南安陽小屯發掘圖

黃老から老莊及び道教へ
——兩漢時代に於ける老子の學——

卷頭圖版解説

甲骨圖版解説

後記

貝塚茂樹

太公九府圖法說について

河西四郡の成立について

漢代邊境兵士の給與について

漢の蚩尤伎について

——武氏祠畫像の解——

たいまいを通じてみた古代南海貿易について

——樂浪より南海まで——

曹操軍團の構成について

列子の書に見える絶對的人間

古逸六朝觀世音應驗記の出現

——晉・謝敷、宋・傅亮の光世音應驗記——

畫家尉遲乙僧について

中國に於ける民俗佛教成立の一過程

——泗州大聖・僧伽和尚について——

第二十五册（一九五四年二月）

創立二十五周年紀念論文集
（人文學報第五號合併號）

序

羽田亨

序

貝塚茂樹

『說郛』版本諸説と私見

公安から竟陵へ

——袁小修を中心として——

總目次

七八五

梅原末治

天野元之助

鈴木隆一

宇都宮清吉

木村英一

伊藤道治

日比野丈夫

米田賢次郎

水野清一

岡崎敬

川勝義雄

重澤俊郎

塚本善隆

長廣敏雄

牧田諦亮

倉田淳之助

入矢義高

渾儀と渾象

AI

アジア農業の特質

——特に中國における耕種方式をめぐって——

ヨーガヴァシシュトハにおける

ジーヴァンムクティについて

軍人勅諭と軍人道徳

不平等條約下の日本

明治前半期における西村茂樹の教育思想

自由民権運動の經濟的背景

集合意識と個人意識

數學的論理學と辯證法的論理學との關係

——チャールズ・パースの論理思想をめぐって——

ルネサンスの美術と社會

——ミケランジェロの場合——

絶對王政とゼントリー

——特に十六世紀英國を中心として——

英國農業革命の技術構造

——とくにカブ栽培の導入過程について——

フランス革命の政治家たち

明治前期の勞働爭議

——三〇年以前の爭議事例の紹介——

民法第七六八條の系譜と立案經過の點描

——立案者の見解を中心として——

吉田 光 邦

倉石 武四郎

柏 祐 賢

藤 吉 慈 海

坂 田 吉 雄

井 上 清

本 山 幸 彦

後 藤 靖

清水 盛 光

上 山 春 平

會 田 雄 次

田 中 裕

飯 沼 二 郎

樋 口 謹 一

渡 部 徹

太 田 武 男

漢簡職官表

神農本草經所載藥品について

唐代史料稿

京都大學人文科學研究所沿革

第二十六冊（一九五六年三月）

卜辭に見える祖靈觀念について

傳統藝術について

寶誌和尚傳攷

中國天文學における五星運動論

中國におけるスキの發達

タキシラよりスーサまで

元代白話碑集錄を讀む

唐代史料稿（二）

第二十七冊（一九五七年三月） 漢代史研究

史記における表現の反覆

漢の西方發展と兩關開設の時期について

漢代爵制の源流として見たる商鞅爵制の研究

漢律體系化の試論

——列侯の死刑をめぐって——

藤 枝 晃

森 鹿 三

平 岡 武 夫

市 原 亨 清

今 井 清

伊 藤 道 治

吉 田 光 邦

牧 田 諦 亮

藪 内 清

天 野 元 之 助

岡 崎 敬

入 矢 義 高

平 岡 武 夫

市 原 亨 清

田 中 謙 二

日 比 野 丈 夫

守 屋 美 都 雄

布 目 潮 瀧

漢律における「不道」の概念
漢代徭役日數に關する一試論

——特に「三十倍於古」について——

漢代の馬口錢と口錢に就いて

居延簡に見える馬について

漢書板本攷

觀音菩薩と普賢菩薩

——雲岡圖像解——

譚嗣同の變革論

——その形成過程——

唐代史料稿 (三)

第二十八册 (一九五八年三月)

中國近世の主觀唯心論について

——萬物一體の仁の思想——

寒山詩管窺

阮籍における懼れと慰め

——阮籍の生活と思想——

魏晉南朝の門生故吏

中唐初期における江左の詩僧について

東林派とその政治思想

イランにおける各種技術の觀察記

中國訪問記

大庭 脩

米田賢次郎

平中 荅次

森 鹿 三

倉田淳之助

水野 清 一

小野川秀美

平岡武夫
市原亨吉
今井 清

島田 虔 次

入矢 義 高

福永 光 司

川勝 義 雄

市原 亨 吉

小野 和 子

吉田 光 邦

塚本善隆・牧田諦亮

第二十九册 (一九五九年三月)

閩立德と閩立本

中國古代の金屬技術

歐亞大陸の東亞栽培植物の交流

居延漢簡の集成

——とくに第二亭食簿について——

中國先秦時代の馬車

敦煌の僧尼籍

安陽小屯殷代遺蹟の分布復原とその問題

唐長安城の遺蹟調査と夏承燾氏の曲江池考

歐米宗教界の印象

第三十册 (一九五九年十二月) 中國古代科學技術史の研究

漢代における觀測技術と石氏星經の成立

中國古代の城について

中國古代農業の展開

——華北農業の形成過程——

周禮考工記の一考察

中國古代の疾病觀と療法

古代シナにおける割烹

周禮考工記の車制

長廣 敏 雄

吉田 光 邦

北村 四 郎

森 鹿 三

林 巳 奈 夫

藤 枝 晃

伊藤 道 治

平岡 武 夫

藤吉 慈 海

藪 内 清

大島 利 一

天野 元 之 助

吉田 光 邦

宮下 三 郎

篠田 統

林 巳 奈 夫

第三十一册 (一九六一年三月)

魏收と佛教

宗法の成立事情

武氏祠左右室第九石の畫象について

敦煌の僧官制度

吐蕃支配期の敦煌

劉致遠作散曲「上高監司」續攷

唐長安大安國寺利涉について

パキスタン、チャナカ・デーリの發掘略報告

塚本善隆

鈴木隆一

長廣敏雄

竺沙雅章

藤枝晃

田中謙二

牧田諦亮

林已奈夫

陶淵明の「眞」について

——淵明の思想とその周邊——

一生一及の相續法

唐代の判について

康熙時代のシベリア地圖

——羅振玉舊藏地圖について——

現代インドの佛教復興運動

——大菩提會とアンベードカールの運動を中心として——

居延出土の王莽簡

唐代蒲昌府文書の研究

福永光司

鈴木隆一

市原亨吉

船越昭生

藤吉慈海

森鹿三

日比野丈夫

第三十二册 (一九六二年三月)

嵇康における自我の問題

——嵇康の生活と思想——

侯景の亂と南朝の貨幣經濟

五戸絲と元朝の地方制度

元典章における蒙文直譯體の文章

殷以前の血縁組織と宗教

戰國式帶鈎について

中世科學技術史序説

パキスタン、チャナカ・デーリの第二回發掘

福永光司

川勝義雄

岩村忍

田中謙二

伊藤道治

長廣敏雄

藪内清

京都大學イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査隊

第三十四册 (一九六四年三月)

白居易の家庭環境に關する問題

元時代における紙幣インフレーション

——經濟史的研究——

黃宗羲の前半生

——とくに『明夷待訪錄』の成立過程として——

殷周青銅彝器の名稱と用途

アフガニスタンのパシュトゥン族とパシュトゥ語

細川護立氏藏『皇明文海』について

第三次イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査豫報

京都大學イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査隊

平岡武夫

岩村忍

小野和子

林已奈夫

勝藤猛

小野和子

京都大學イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査隊

第三十三册 (一九六三年三月)

附録 至元通行寶鈔(天理圖書館藏・黒城出土)

第三十五册 (一九六四年三月) 敦煌研究

序

敦煌千佛洞の中興

——張氏諸窟を中心とした九世紀の佛窟造營——

曇曠と敦煌の佛敎學

敦煌出土「社」文書の研究

敦煌本『張仲景五藏論』校譯注

句法・韻律よりみた擬張撰『五藏論』の

唱誦部分

中國佛敎における疑經研究序說

——敦煌出土疑經類をめぐって——

敦煌本「佛名經」の諸系統

中國における羯磨の變遷

——スタイン本を中心にして——

敦煌定格聯章曲子補錄

スタイン敦煌文獻中の曆書

敦煌絹幡「金剛力士像」について

第三十六册 (一九六四年九月) 創立三十五周年記念論集

金文に現れる夏族標識

姓による族的結合

森 鹿 三

藤 枝 晃

上 山 大 峻

竺 沙 雅 章

宮 下 三 郎

田 中 謙 二

牧 田 諦 亮

井ノ口 泰 淳

土 橋 秀 高

入 矢 義 高

藪 内 清

長 廣 敏 雄

長沙出土戰國帛書考

公孫龍子の研究

漢代肖像畫の精神史的背景

居延漢簡燧燦考

——とくに甲渠候官を中心として——

漢書地理志の秦郡について

郭象の「莊子注」と向秀の「莊子注」

——郭象盜竊説についての疑問——

劉宋政權の成立と寒門武人

——貴族制との關連において——

修文殿御覽について

寶山寺靈裕について

維摩變の系譜

坐禪と坐忘について

東都留守時代の裴度の生活

白居易とその妻

白樂天の健康狀態

梅堯臣論

蘇軾と佛敎

朱子の宇宙論序說

施宿編東坡先生年譜の發見

元時代の肉刑について

林 巳 奈 夫

宮 崎 市 定

長 廣 敏 雄

永 田 英 正

日 比 野 丈 夫

福 永 光 司

川 勝 義 雄

森 鹿 三

牧 田 諦 亮

藤 枝 晃

藤 吉 慈 海

市 原 亨 吉

平 岡 武 夫

今 井 清

筧 文 生

竺 沙 雅 章

山 田 慶 兒

倉 田 淳 之 助

岩 村 忍

雜劇「西廂記」の南戲化

——西廂物語演變のゆくえ——

明代思想の一基調

——スケッチ——

西遊記のなかの西遊記

回回曆解

清初の講經會について

『大清一統志』のロシア記事

劉師培と無政府主義

ガンダーラの一斷石

第三十七册 (一九六六年三月)

宋元時代における科學技術の展開

朱子の宇宙論

隋の貌聞と唐初の食實封

後漢時代の車馬行列

王闢運文學論

故小川陸之輔氏藏甲骨文字

唐代史料稿 長慶元年

長慶元年の曆

西アジア採集ガラスおよび釉藥の化學的研究

田中謙二

島田虔次

荒井健

藪内清

小野和子

船越昭生

小野川秀美

水野清一

藪内清

山田慶兒

礪波護

林已奈夫

何朋

伊藤道治

平岡武夫

平岡武夫

吉田光邦

室賀照子

第四、五次イラン・アフガニスタン・

パキスタン學術調査豫報

第五次イラン・アフガニスタン・

パキスタン學術調査豫報

長沙出土戰國帛書考補正

考古・美術班

地理班

林已奈夫

第三十八册 (一九六七年三月)

鎖國日本にきた『康熙圖』

——わが國近代地理學の前驅——

大蕃國大德三藏法師沙門法成の研究(上)

中國古代の神巫

放從良

——白居易の奴婢解放——

唐代史料稿 長慶二年

一九六五年イラン・アフガニスタン・

パキスタン學術調査豫報

口繪 一、明初青花磁器(アルデビル博物館)

二、アゼルバイジャン先史原史遺物(タブリーズ、

アゼルバイジャン博物館)

卷末折込地圖 三葉(船越論文附圖25 26 27)

第三十九册 (一九六八年三月)

殷周時代の圖象記號

船越昭生

上山大峻

林已奈夫

平岡武夫

今井武夫

礪波護

平岡武夫

今井武夫

平岡武夫

吉田光邦

室賀照子

林已奈夫

大蕃國大德三藏法師沙門法成の研究(下)

朱子の天文學(上)

——朱子の自然學 その二——

鄭和の航海

——その航海法について——

唐代史料稿 長慶三年

小島祐馬先生(初代所長)の著書

——追憶の記——

第四十冊 (一九六九年三月)

元代散曲の研究

朱子の天文學(下)

——朱子の自然學 其の二——

中國古代の祭玉、瑞玉

北朝における『勝鬘經』の傳承

唐代史料稿 長慶四年

第七次イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査豫報

貝塚茂樹教授・水野清一教授著作目録

第四十一冊 (一九七〇年三月) 創立四〇周年記念論集

殷中期に由來する鬼神

讀論語說

——三則——

上山大峻
山田慶兒

橋本敬造

平岡武夫
磯井清夫
平岡武夫

田中謙二
山田慶兒

林巳奈夫

藤枝晃
平岡武夫
磯波護

イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査隊

林巳奈夫
福島吉彦

『大人賦』の思想的系譜

——辭賦の文學と老莊の哲學——

史記の〈笑い〉

史記貨殖列傳と漢代の地理區

漢代の選舉と官僚階級

樓蘭文書札記

『世說新語』の編纂をめぐって

——元嘉の治の一面——

六朝士人の觀音信仰

——王文謨の歸信——

令集解所引玉篇考

唐の律令體制と字文融の括戸

白居易と寒食・清明

蜀刻唐六十家集攷

全五代詩について

宋代の戸等制をめぐって

宋代の俸給について

——文臣官僚を中心として——

顔元の學問論

梅文鼎の曆算學

——康熙年間の天文曆法——

章學誠の位置

光復會の成立

福永光司

田中謙二

日比野丈夫

永田英正

藤枝晃

川勝義雄

牧田諦亮

森鹿三

磯波護

平岡武夫

市原亨吉

今井清

梅原郁

衣川強

小野和子

橋本敬造

島田虔次

小野川秀美

辛亥革命時期の湖北における革命と反革命

——江湖會の襄陽光復を中心に——

狹間直樹

「中國現代文學史」と三〇年代文藝の評價

筧文生

『坤輿萬國全圖』と鎖國日本

船越昭正

インド佛教思想史の基礎づけのために

荒牧典俊

藪内清教授・岩村忍教授・長廣敏雄教授著作目録

第四十二冊（一九七一年三月）

長沙出土楚帛書の十二神の由來

林巳奈夫

藤井有鄰館所藏甲骨文字

伊藤道治

唐代後半における社會變質の一考察

愛宕元

宋代の内藏と左藏

梅原郁

——君主獨裁制の財庫——

官僚と俸給

衣川強

——宋代の俸給について續考——

朱子の氣象學

山田慶兒

——朱子の自然學 その三——

橢圓法の展開

橋本敬造

——『曆象考成後編』の内容について——

唐代史料稿 大和元年・二年

平岡武夫
磯井清護

森鹿三教授著作目録

第四十三冊（一九七二年三月）

大理石ヒンドゥー像はヒンドゥー王朝のものか

桑山正進

鄂君啓節について

船越昭生

漢代の集議

永田英正

兩稅法制定以前における客戶の税負擔

磯波護

太平天國と婦女解放

小野和子

共和制と帝制

狹間直樹

——辛亥革命における革命派の認識と行動——

「中國現代文學史」と「文藝講話」の位置

筧文生

第四十四冊（一九七三年二月）

漢鏡の圖柄二、三について

林巳奈夫

孫吳政權の崩壊から江南貴族制へ

川勝義雄

高僧傳の成立（上）

牧田諦亮

「滄浪詩話」と「潛溪詩眼」

荒井健

——宋代詩學おぼえがき——

朱門弟子師事年攷

田中謙二

ある陽明學理解について

島田虔次

梅文鼎の數學研究

橋本敬造

唐代史料稿 大和三年

平岡武夫
今井清夫

第四十五冊（一九七三年九月）

佩玉と綬

——序——

道教における鏡と劔

——その思想の源流——

村本 王校本白氏文集

唐代の郷貢進士と郷貢明經

青唐の馬と四川の茶

——北宋時代四川茶法の展開——

秦檜の講和政策をめぐる

歴代詩選と曹學佺の生涯

ハッダ最近の發掘に關する問題

新獲の唐代蒲昌府文書について

敦煌曆日譜

林 巳奈夫

福 永光司

平岡 武夫

愛 宕 元

梅 原 郁

衣 川 强

市 原 亨吉

桑 山 正進

日比野 丈夫

藤 枝 晃

第四十六册 (一九七四年三月)

漢代の倉庫について

西王母と七夕傳承

中國古代の木材について

漢代の音楽と音楽理論

居延漢簡の集成一

——破城子(ム・ドルベルジン)出土簡一——

漢代の機械

漢代の鬼神の世界

秋 山 進午

小 南 一郎

杉 本 憲司

内 藤 戊申

永 田 英正

橋 本 敬造

林 巳奈夫

漢代南越國墓葬考

タキシラ佛寺の伽藍構成

小野川秀美教授・平岡武夫教授著作目録

町 田 章

桑 山 正進

第四十七册 (一九七四年二月)

魏晉思想と初期中國佛教思想

——序——

伊川擊壤集の世界

漢代衣服史小考

素描——漢代の都市

居延漢簡の集成二

——破城子(ム・ドルベルジン)出土の定期文書二完——

荒 牧 典俊

三 浦 國雄

相 川 佳子

吉 田 光邦

永 田 英正

第四十八册 (一九七五年二月)

漢代の飲食

梁武の蓋天説

宋初の寄祿官とその周邊

——宋代官制の理解のために——

「漢武帝内傳」の成立(上)

高僧傳の成立(下)

朱門弟子師事年放續

市原亨吉教授著作目録

林 巳奈夫

山 田 慶兒

梅 原 郁

小 南 一郎

牧 田 諦亮

田 中 謙二

第四十九册 (一九七七年二月)

華北地方における漢墓の構造
中國壁畫古墳の建築圖と初唐建築の様式について

五代北宋初期山水畫の一考察

——荆浩・關仝・郭忠恕・燕文貴——

明末の都市改革と杭州民變

婚姻法貫徹運動をめぐって

「通極論」譯注(上)

藤枝 晃教授・田中謙二教授著作目錄

町田 章

田中 淡

曾布川 寬

夫馬 進

小野 和子

「隋唐の思想と社會」研究班

第五十册 (一九七八年二月)

殷西周間の青銅容器の編年

漢鏡の圖柄二、三について(續)

武威漢代醫簡について

劉向の學問と思想

フランス勤工儉學運動小史(上)

舊中國における『女工哀史』

現代中國の歴史性

——「儒法鬭争に學べ」運動にみえる呂后——

武則天讀美の論理とその挫折——

林 巳奈夫

林 巳奈夫

赤堀 昭

池田 秀三

森 時彦

小野 和子

竹内 實

李義山七絶集釋稿(一)

李義山詩各本篇目對照表

牧田諦亮教授・日比野丈夫教授著作目錄

荒井 健三 浦國雄

小南 一郎 茂木信之

森瀨 壽三 茂木信之

松尾 良樹

第五十一册 (一九七九年三月)

殷周青銅器銘文鑄造法に關する若干の問題

地圖學的見地よりする馬王堆出土地圖の檢討

崑崙山と昇仙圖

陶淵明序論

顏師古の『漢書』注

フランス勤工儉學運動小史(下)

居延漢簡の集成三

——地灣(ウラン・ドルベルジン)、博羅松治(ボロ・ツォンチ)、瓦因托尼(ワイン・トレイ)、大

灣(タラリンジン・ドルベルジン)出土簡

「通極論」譯注(下)

李義山七絶集釋稿(二)

顧炎武『音論』譯注

「隋唐の思想と社會」研究班

荒井 健三 浦國雄

茂木 信之 森瀨 壽三 川合 康三

深澤 一幸 横山 弘

「清代經學の研究」班

顧炎武『音論』譯注

ZINBUN No. 7 (1962).

IMANISHI, K. The Evolution of Personality.

AIDA, Y. The Limits of European "Humanism".

ZINBUN No. 8 (1966).

MIYAKE, I. A Comparison of the Components of Electoral
Decisions in the Varying Kinds of Election.

INUMA, J. Ancient Punjab Dry Farming in the General
History of Agriculture.

ZINBUN No. 9 (1966).

FUJIEDA, A. The Tunhuang Manuscripts (I).

ZINBUN No. 10 (1967).

KAWANO, K. Le marxisme au Japon avant la deuxième guerre
mondiale.

FUJIEDA, A. The Tunhuang Manuscripts (II).

ZINBUN No. 11 (1967).

TANI, Y. Forerunners of the Pathological Anatomy in Italy.

ZINBUN No. 12 (1969).

YOSIDA, M. Concerning on the Modernization of Japan.

FUKUNAGA, M. "No-mind" in Chuang-tzu and in Ch'an Bud-
dhism.

ZINBUN No. 13 (1974).

MAEKAWA, K. Agricultural Production in Ancient Sumer.

UCHII, S. Moral Reasoning.

ZINBUN No. 14 (1977).

MAEKAWA, K. The Rent of the Tenant Field (gán-APIN. LAL)
in Lagash.

MIMAKI, K. Le Grub mtha' rnam bzag rin chen phreñ ba de
dkon mchog 'jigs mek dbañ po (1728-1791).

UCHII, S. Three-valued Logic with Two Negations.

Publications in European Languages

SILVER JUBILEE VOLUME OF THE ZINBUN-KAGAGU-KEN-KYUSYO, KYOTO UNIVERSITY (1954), containing forty-two articles with history of the Institute.

ZINBUN No. 1 (1957).

KUWABARA, T. TURUKI, S. et HIGUTI, K. Les collaborateurs de l'*Encyclopedie*—Les conditions de leur organisation.

HUZIOKA, Y. A Statistical Approach to Group Comparison based on the Distribution of Rorschach Responses.

ZINBUN No. 2 (1958).

SAKATA, Y. Changes in the Concept of the Emperor.

INOUE, K. A Historical Outline of Studies in the "Ziyu Minken" Movement.

ZINBUN No. 3 (1959).

KAIZUKA, S. The Characteristics of the Ancient Chinese Urban State.

HIRAOKA, T. The T'ang Civilization Reference Series.

ZINBUN No. 4 (1960).

TOMIOKA, J. The Birth and Collapse of the Self-governing Village Community in England.

MAKI, Y. On the Semiotic.

ZINBUN No. 5 (1961).

YOSIDA, M. A Short History of Japanese Ceramics.

KATO, H. Some Observation on Communication and Japanese Nationalism in 1890s.

ZINBUN No. 6 (1962).

MAKITA, T. Hui-yüan—his life and times.

A Study of the Life and Landscape Painting of <i>Hsü</i> <i>Tao-ning</i> 許道寧.	SOFUKAWA Hiroshi... 451
The <i>Sung</i> Privilege System of Official Appointments.	UMEHARA Kaoru... 501
Introductory Research on Chinese Gazetteers: <i>Wu</i> 吳 region.	AKIYAMA Motohide... 537
A Study of the <i>Tung-lin</i> Clique 東林黨. (1). Governor <i>Li San-ts'ai</i> 李三才.	ONO Kazuko... 563
A Student Movement against Local Bureaucrats in the Late <i>Ming</i> Period.	FUMA Susumu... 595
On the 32- <i>chüan</i> Edition of <i>Jih-chih-lu</i> 日知錄 published by Mr. <i>Hu's Ching-yi-chai</i> 胡氏經義齋.	OZAKI Yujiro... 623
On the Victory of <i>Kuo-min-tang</i> 國民黨 in the First National Assembly Election.	HAZAMA Naoki... 625
The Formation of the Young Chinese Communist Club in Europe.	MORI Tokihiko... 645
The Structure of <i>Yao Hsüeh-yin's</i> 姚雪垠 <i>Li Tzŭ-che'ng</i> 李自成.	FUKAZAWA Kazuyuki... 681
On Recent Criticism of the <i>Shui-hu-chuan</i> 水滸傳.	TAKEUCHI Minoru... 715
Miscellanies :	
News of the Institute, June 1978—May 1979.	765
Appendix :	
A Comprehensive List of Contributions to the <i>Tōhō</i> <i>Gakuhō</i>	777
A Comprehensive List of Contributions to the <i>Zinbun</i>	3

CONTENTS

Foreword.....	KAWANO Kenji..... 1
---------------	---------------------

Articles:

Six <i>Tsun</i> 六尊 and Six <i>I</i> 六彝 of <i>Chou-li</i> 周禮 in the Light of Archaeological Evidence.	HAYASHI Minao..... 1
Periodization of the Bronze Weapons <i>Ko</i> 戈 and <i>Chi</i> 戟 in the <i>Ch'un-ch'iu</i> and <i>Chan-kuo</i> Periods and Some Problems concerning their Mention in Inscriptions.	EMURA Haruki.....63
An Introduction to pre- <i>Ch'in</i> Palace Buildings.	TANAKA Tan... 123
Theory of Nine Palaces and Eight Winds and the Standpoint of the <i>Shao-shih</i> 少師 Group.	YAMADA Keiji... 199
Essay on <i>Ma Jung</i> 馬融.	IKEDA Shuzo... 243
On the Transmission from Master to Disciple according to the <i>Pao-p'u-tzŭ</i> 抱朴子 <i>nei-p'ien</i> 內篇. ...	YOSHIKAWA Tadao... 285
Reestablishment to the Aristocracy in the Eastern <i>Chin</i> Period, with special regard to the Military Forces.	KAWAKATSU Yoshio... 317
On the Basic Structural Patterns of the Poetry of <i>T'ao</i> <i>Yüan-ming</i> 陶淵明.	MOTeki Nobuyuki... 341
Essay on Chinese Communities in the Middle Ages.	KATSUMURA Tetsuya... 357
An early Chinese Zen Text from <i>Tun-huang</i> and its Date.	YANAGIDA Seizan... 367
<i>T'ai-ts'ang</i> 太倉 and <i>Han-chia-ts'ang</i> 含嘉倉 Storehouses under <i>Sui</i> and <i>T'ang</i> Dynasties.	TONAMI Mamoru... 403
Bibliographical Notes on <i>Li I-shan's</i> 李義山 Poem.	ARAI Ken... 441